

# 質問集

コンセント・スイッチ部  
補強ガードQ & A

(Q&Aを読まれる前に・・・)

本製品を取付け取外す場合はブレーカーをオフにして下さい。

また、電気配線器具に電気配線を取付け取外すには電気工事士免許が必要です。

Q 1

スイッチやコンセント取付部の壁穴が製品の短筒部よりも狭くて入らないのですがどうすれば良いですか？

A 1

そのような場合は壁穴を製品の短筒部が入る大きさに刃物又はヤスリなどで広げて下さい。

Q 2

内装壁に製品を取り付けようとしたところ、内装壁の奥の黒っぽいコンセントボックスに、製品の短筒部奥が当たり、うまく取り付けられません。どうすれば良いですか？

A 2

内装壁が石膏ボードの場合は一般的に9.5ミリ厚か12.5ミリ厚を使用する場合があります。まれに8ミリ厚や5ミリ厚のケイカル板や薄ベニヤを使用している事があり、更に、コンセントボックスの取付位置が壁板に密着している場合は、製品の短筒部は9ミリありますので、製品が壁から浮いてしまいます。きちっと取り付ける方法としては、コンセントボックスを壁の奥に少しずらすか、製品の短筒部を壁厚程度に切断するかです。但し、製品を変形加工した場合はPL法の適用除外となりますのでご了解の上、とり行って下さい。

また、短筒部を均一に切断する変形加工サービスを1箇所2,000円で行っておりますが、変形加工による本製品の強度損失に対し弊社は責任を負いかねます。又、返品不可となりますことと、送料はお客様のご負担であることを予めご了承の上、サービスをご利用下さい。

Q 3

スイッチやコンセントを取付けている穴が製品の短筒部よりやや広いのですが、どうすれば良いですか？

A 3

そのような場合で、製品の表面板面積の50%範囲であれば接着剤などで貼り付け固定することができます。それ以上に穴が広い場合は本製品での使用推奨範囲を超えることとなりますので、壁用ボードの取替が必要になることがあります。

Q 4

壁にコンセント金具を取付る方法として、金具外側の小さい上2穴、下2穴の計4カ所に4つの細ネジで取付ける方法と、内側の上1穴と下1穴の計2カ所に2つの長ネジで取り付けてある方法が見受けられたのですが製品の取付方法を教え得て下さい？

A 4

まず、4つの細ネジで取り付けてある場合は製品に穴が無いので、位置を計ってキリやドリルで穴を開ける必要があります。このようなケースは壁がベニヤなど木材であることがよくあります。次に2つの長ネジで取り付けてある場合は、そのまま製品を壁とコンセント金具に挟み込むような感じで取り付けて下さい。このようなケースは壁の奥にコンセントボックスや、固定金具があり長ネジを通す穴があります。

Q 5

本製品を取付ける壁の端に余裕がなく柱などに当たってしまう場合はどのようにすれば良いですか？

A 5

本製品の表面板のはみ出し部分をアクリルカッターなどで切断してください。また、ご自身でできない場合は変形加工サービスのご利用もできますがQ 2 及びA 2 の内容と同等の責任範囲となりますので、そちらもご一読下さい。また、取付が複雑そうである場合は電気工事士などに依頼する方が適切かもしれません。

Q 6

本製品を購入したのですが自分で取付できない場合は取付をお願いできますか？

A 6

有償となりますが各地域より工事士を手配させて頂いております。ホームページのお問合せフォームよりお申し付け下さい。弊社よりご連絡の上、日程、料金、ご準備などについてのご案内をさせていただきます。

Q 7

2連タイプのコンセントに対応できる製品はありますか？

A 7

2連タイプ専用のらく替えくんは今のところ製造予定がありません。

ご期待に添えず申し訳ありません。

ただし、現在のらく替えくんが2連タイプのコンセントに対応は可能です。

その2連コンセントの壁を全体的に補強したいのであれば、らく替えくんを2個用意して頂きます。

1つは右側を、もう一つは反対の左側を中心の短筒部(粹部)を残して、

その短筒部の側面際から正面板を縦にまっすぐ切断します。

2枚の切断面を併せれば2連コンセントに対応できる形になります。

その時、中心の切れ目が気になるようでしたら。上にシートなどを貼ると隠れて見えなくなります。

ものさしをあてカッターナイフで切るときれいに切断できますが、

正面板は薄いのではさみでも切れます。